

会員 73 名中 47 名出席 64.38%	国際ロータリー会長	ホルガー・クナーク Holger Knaack
修正 52 人 71.23%	国際ロータリー第2530地区ガバナー	石黒 秀司
メイクアップ 5 名	福島南ロータリークラブ 会長	松崎 弘昭

標語「後から来る者の種火となって共に熱く燃えよう」

例会会場連絡先/クーラクーリアンテナパレス TEL 024-523-3811 毎週水曜日 12:30~

◆会長挨拶 松崎 弘昭 会長

吾妻の主峰、一切経山が晨光を真正面に浴びて、白皚々と輝き、山頂の上空を灰色の凍雲が東に向かってゆっくり流れて一層の寒さを予感します。この月は、一年を回顧して悔恨や反省をする月でもあります。一年の計は元旦にありと言いますが、実際には、元旦に計画を立てるようでは「遅きに失する」ということでもあります。元旦には実行に移せるように、この月にしっかりと来る年の計画を立てたいものであります。今日は、今年最後の例会ということで、本来であれば、クリスマス忘年会で親睦を

図るプログラムを準備しておりました。しかし、福島市内で新型コロナウイルス感染クラスターが発生したことで、夜間例会、そして、酒席でのクリスマス忘年会も中止を余儀なくされてしまいました。世の中では、新型コロナウイルスに席卷され、大変なことになっているようですが、少し長期的な年月で考えてみると、良きことも悪しきことも全てがプラス、マイナスゼロになるものなのです。しかし、訪れた大変な事象を不幸とばかり捉え「辛い、辛い」とばかり考えていると、後の幸せは少し遠退いてしまうようであります。逆に、その大変な事象、今で言えばコロナの状況に対して自分なりの感染防止対策を万全にとり、体調に気をくばりながらも、決して浮足立つことなく冷静に受け止める。そのように心がけることで、何かその中で光というか、そういう状況だからこそ出来るものが見つけれられるのです。

正に、先人が言われたように「人生は、心一つの思いよう」ということなのでしょう。福島愛育園の歴史は、ご承知の方もいらっしゃるでしょうが、ロータリーが発祥するずっと以前に遡るようです。福島県の生んだ社会福祉事業の先覚者、日本のナイチンゲールと言われた瓜生岩子刀自は、1889年に組織の前身となる福島球育所を開設しました。そして1893年2月26日に、岩子の主唱により福島鳳鳴会が設立され、孤児児の養育を開始したのが福島愛育園の始まりなのだそう。因みにロータリーの発祥はその12年後の1905年2月23日であります。

私たちも、いろいろな思いやりの心を知ること、自分持っている思いやりの心の枠を広げることができるのかも知れません。そのような思いを込めて、今日のスピーチを楽しみに拝聴したいと思います。

会員の広場：松崎会長雑感「和やか」例会の食事や歌は、和やかな雰囲気をつくる手段だったのですね。・無口でも食事と歌は口開ける!

<p>次回 1月13日(水) 第24回例会プログラム</p> <p>《通常例会 12:30~です》</p> <ol style="list-style-type: none"> 開会点鐘 国家斉唱 ロータリーソング 四つのテスト 会長挨拶 6. 米山奨学生奨学金授与(タイパソクさん) 成蹊高等学校奨学金授与 -中止となります- クラブフォーラム「私の会社の未来戦略」 幹事報告 閉会点鐘 	<p>【 例会予定 】</p> <p>1月4日(月)市内7クラブ合同新年会 -中止-</p> <p>1月6日(水) 休会</p> <p>1月20日(水) 誕生日祝い、ロ-列への友読みどころ、ホ-ルバス追悼例会</p> <p>【 地区・分区・その他関連行事 】</p> <p>1月21日(木) 地区後期委員会総会(ビューホテルアネックス)</p> <p>1月30日(土) 職業奉仕委員会セミナー(南東北総会卸セカ協同組合)</p> <p>2月12日(金) 第5回会長・幹事会(ザ・セレクトン福島)</p>
---	---

◆ゲストスピーチ 福島愛育園 園長 長谷川 文夫 様
 主任栄養士 高橋 渚 様 統括主任 遠藤 嘉邦 様



1. 児童養護施設とは
 親のいない子どもや、親からの虐待などを理由に家庭で生活できなくなった子どもを入所・養護する施設。児童相談所長の判断に基づき、都道府県知事が入所措置を決定する児童福祉施設です。

2. 福島愛育園の概要

< 創 立 > 明治 26 年 2 月 16 日 < 創立者 > 瓜生岩子
 < 経営主体 > 社会福祉法人福島愛育園 < 理事長 > 吉岡棟憲 < 名称 > 福島愛育園
 < 施設の種別 > 児童福祉法による児童養護施設 < 定員 > 77 名

3. 福島愛育園での食育について

4才から18才の子供達が生活しており同じ食材で同じ料理を提供している。高校生は弁当が必要な為、弁当箱に詰める作業を個人に任せている。月に一度は職員も食卓を囲いコミュニケーションを取り、楽しい食事を目標している。

4. 福島愛育園の献立について

野菜のものとの形を知らない子供達も多いので、食材の知識を提供している。食べ物に興味持ってもらえるように献立を考えています。高校3年生は調理実習を行い、調理の経験もするようにしている。

5. 社会的養育とは

- ・ 孤児院からの脱却、入所児童の虐待を受けた影響・発達障がいの影響、対応の多様化
- ・ 子ども・子育てをめぐる社会環境が大きく変化する中で、全ての子どもに良質な養育環境を保障し、子どもを大切に育てる社会の実現が求められている。虐待を受けた子どもなど、保護者の適切な養育を受けられない子どもが増えており、そのような子ども達こそ、社会全体で公的責任を持って、保護し、健やかに育てていく必要がある。
- ・ 社会的養育という中に含まれている養育先としては、里親、児童養護施設、ファミリーホーム、児童自立支援施設、自立援助ホーム等です。

6. 入所前のケア・入所中のケア・卒園後のケア

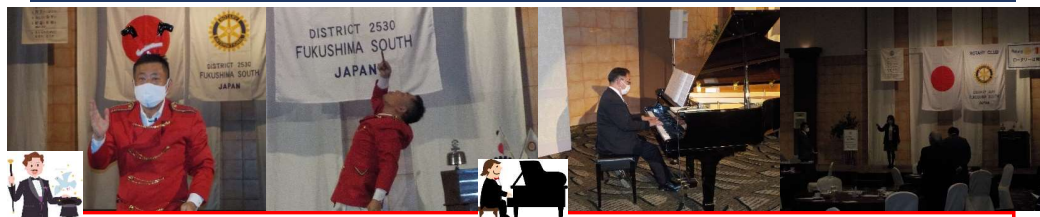
- ・ 児童家庭支援センター ・ 子育て支援センター等の重要性。(入所前)
- ・ 入所児童の心理的ケア ・ 家庭復帰へ向けたプログラミング・社会体験活動の充実。(入所中)
- ・ 卒園後のケア、就職先への訪問・生活状況の確認・様々な問題への対応、相談。(卒園後)

7. 児童養護施設のこれから

- ・ 新しい社会的養育ビジョンについて
- ・ 養育の幅を広げ、柔軟な対応力を備え、広い視野を持ち、チームとしての養育が重要。

※福島の未来の担う子ども達を支えている貴重なお話をいただき、ありがとうございました。

◆クリスマス余興 “マジックショー” 恵利 紀之 様 / “ピアノ演奏” 安齋 紀之 様



親睦活動委員会の企画、迫力ある生の余興を実施していただきました。また、家族で親睦のお土産も用意していただきました!

